

# 寸言

株式会社 JALUX  
常務執行役員 航空・空港事業本部長

内藤 洋



## 価値創造に向けた航空商社の挑戦

この度は『寸言』という高尚なコーナーに寄稿させて頂ける機会を頂き、SJAC関係者の皆様に御礼を申し上げます。

業界はもとより、人生の諸先輩方を前に『寸言』とは、いささか逡巡しつつ、一方で折角頂戴した機会ですので、ここは新参者らしく、皆さまに当社を知って頂く場とさせて頂ければと奮起し、筆を握ることと致しました。より多くの方々にお目通し頂けることに期待、最後までお付き合い頂けると幸甚です。

さて、当社は2022年に創立60周年を迎えました。創立当初は航空保険・空港不動産を中心に日本航空100%子会社として事業をスタート致しましたが、航空空港、リテール、飲食料品へと事業領域の拡大や同業他社との合併等を経て、2002年には東証二部上場、2004年には東証一部上場を果たし、また2007年には双日の資本を筆頭で受け入れるなど、日本航空グループに依存しない自立・自律した商事会社として成長を成し遂げてまいりました。

記憶に新しい直近の出来事として、2022年に日本航空と双日によるTOBを受諾致しましたが、それを契機に各社が持つ様々なリソースを有効活用する環境が整ったことも手伝い、追い風、且つ上昇気流を受けながら安定した自律飛行を続けて今日に至っております。

小職が管掌する航空・空港事業本部についても簡単に触れさせてください。当本部は長い歴史の中で、航空機リース、機体売買、部

品供給、乗員訓練関連事業、空港運営事業、と様々な事業を手掛けて参りました。現在、その中でも特に我々の強みとして捉えている以下の3事業領域に加え、イノベーション事業に焦点を絞り、リソースを集中投下しております。

1. 部品・素材供給事業
2. アセットマネジメント事業  
(リース・トレード・ファイナンス)
3. 空港運営事業
4. イノベーション事業  
(宇宙・データ活用・資産管理)

商社はいつの時代も商流における介在意義だけでなく、社会的な存在意義すら問われる境遇に身を置いています。逆の言い方をすれば、社会やお客様が抱える問題・課題解決の一助となれば、社会からも認知されご評価頂けます。前掲した4つの事業領域は一見それぞれが独立した事業に見えますが、それぞれの事業領域におけるデータやスキル、知識や経験を掛け合わせることで新たな価値創造が可能であり、使命感と高揚感を感じながら様々な課題、例えば製造や整備現場の納期・工期が超長期化する部品・原材料のSCM乱れ、に当事者意識を持ちながら解決に向けて日々取り組んでおります。

最後となりますが、SJACに加入させて頂き、会員各社様との事業共創の機会を持てるよう、また皆さまと共に航空・宇宙産業の発展に貢献できるようチャレンジを続けて参ります。